

用途

- 内装工事の間仕切り、位置決め作業
- 建築工事の内部造作の位置決め、壁面、窓枠の垂直出し作業
- 電気・配線工事の照明機器などの位置決め作業
- 左官工事のタイル目地の垂直、水平出し作業
- 階段、手すりなどの傾斜位置決め作業 (UG 25MB3形を除く)

レーザー墨出し器 (電子ジンバル式)

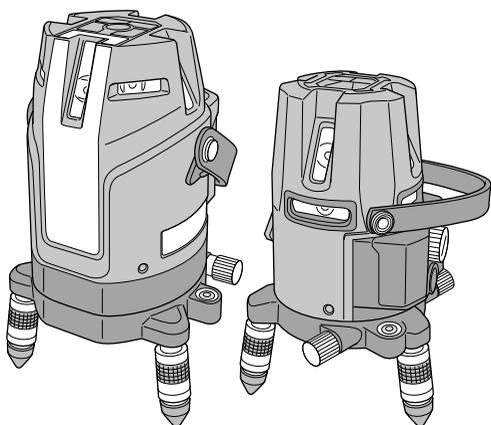
UG 25MY2 UG 25MBY2 UG 25MBCY2

レーザー墨出し器 (機械ジンバル式)

UG 25MB3

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、
ありがとうございました。

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、
正しく安全にお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られる所に
大切に保管してご利用ください。



UG 25MY2

UG 25MB3

本製品の安全上のご注意	1
本製品の使用上のご注意	2
免責事項	3
各部の名称	4
照射ライン数	6
仕様	7
標準付属品	9
別売部品	10

はじめに

ご使用前の準備	11
レーザーを照射する	14
照度モードの切替	18
自動調整 (水平出し) 機能について	19
精度のご確認	20
受光器の使い方	25
別売部品の使い方	31

使い方

保管について	33
ご修理のときは	34
保証書	裏表紙

その他

本製品は日本国内用のため、日本国外で販売または使用することはできません。日本国外で使用した場合は、仕様上の性能を発揮できない恐れがあります。日本国外では、修理または保証を受けられません。

This product may be used only in Japan and should not be sold or used in any other country. Otherwise, product may not perform as intended. No authorized service or warranty is available outside of Japan.

警告、**注意**、**注**の意味について

ご使用上の注意事項は「**警告**」、「**注意**」、「**注**」に区分しており、それぞれ次の意味を表します。

警告 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

注意 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

注 : 製品のすえ付け、操作、メンテナンスに関する重要なお注意。

なお、「**注意**」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

本製品の安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- 使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

警告

- ① **レーザー光を光学機器で直接見ないでください。**
望遠鏡や双眼鏡、ルーペなどでレーザー光を見ると、目を痛めます。
- ② **異常を感じたら絶対に使用しないでください。**
レーザー光が強くなったり、出なくなった場合には必ず修理に出してください。
- ③ **レーザー光を直接のぞきこまないでください。**
レーザー光が目には直接当たると、目を痛める原因になります。
- ④ **レーザー光路は目の高さを避けてください。**
レーザー光が目には直接当たると、目を痛める原因になります。
- ⑤ **レーザー光路には立ち入らないようにしてください。**
使用者以外はレーザー光路に立ち入らないようにしてください。
- ⑥ **分解、改造は絶対にしないでください。**
故障、修理の場合は、必ずお買い求めの販売店に依頼してください。
- ⑦ **レーザー光路に反射物を置かないでください。**
レーザー光が反射して目に当たると、目を痛める原因になります。
- ⑧ **可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。**
爆発や火災の恐れがあり、事故の原因になります。
- ⑨ **人体にレーザー光による障害が疑われる場合は、速やかに医師の診断を受けてください。**

本製品の使用上のご注意

この機体は精密機器です。次に述べる注意事項を守ってください。

⚠️ 注意

- ① **使用前、使用後には必ず精度確認をしてください。**
故障した状態で使用すると、誤作業の原因になります。
(詳細は、P.20～24の全項目を確認してください。)
- ② **-5℃～40℃の環境で使用してください。**
上記環境外では精度不良や、レーザー光が照射しない場合があります。
- ③ **次のような場所には置かないでください。**
精度不良や故障の原因になります。
 - 直射日光の当たる所や、暖房器具の近くなどの高温になる所
 - ダッシュボード、トランク、荷台や直射日光下で窓を閉め切った車内
 - 磁気を帯びた所、振動の多い所、ほこりの多い所、濡れた所や湿気の多い所
- ④ **結露している状態では使用しないでください。**
精度不良や故障の原因になります。
- ⑤ **故障のまま使用しないでください。**
すぐに使用を中止して、お買い求めの販売店に依頼してください。
- ⑥ **落下や、転倒などの強い振動を与えないでください。**
落下や、転倒した場合は、精度を確認するか修理に出してください。
- ⑦ **雨や水にぬらさないでください。**
性能や寿命が低下し、故障の原因になります。
- ⑧ **機体を移動させるときは電源を切ってください。**
精度不良や故障の原因になります。
- ⑨ **照射口のカバーには触れないでください。また、照射口は汚れや傷、水滴のない状態で使用してください。**
照射ラインの精度不良の原因になります。
- ⑩ **運搬する場合は、収納ケースに入れて運んでください。また、横倒しにしないでください。**
振動や転倒などで、精度不良や故障の原因になります。
- ⑪ **保管する場合は、収納ケースに入れてください。**
湿気やほこりで、故障の原因になります。
- ⑫ **長期間(1か月以上)使用しない場合は、乾電池を取出してください。**
液漏れして、故障の原因になります。
- ⑬ **受光器は指定の受光器を使用してください。**

⚠️ 注意

- ⑭ 本機と受光器の間は、さえぎらないでください。
信号の送受信ができず、正しく動作しません。
- ⑮ 他のリモコンを同時に使用しないでください。
混信して誤動作の原因になります。
- ⑯ 下記の別売部品は、指定のものを使用してください。
火災や故障の原因になります。
•コードレス USB アダプタ •USBケーブル •DC アダプタ •AC アダプタ
- ⑰ 定期点検を行ってください。
安全にお使いいただくため、定期的に点検に出すことをおすすめします。
- ⑱ 使用者への安全教育について
レーザー光の性質、有害性などについて、十分ご理解の上で使用ください。
- ⑲ お手入れの際に、シンナーやガソリンなどの溶剤は使用しないでください。
- ⑳ 受光器の受光面は汚れや傷、水滴のない状態で使用してください。
- ㉑ 日かげで使用してください。
本体および受光器に、直射日光が当たった状態では受信感度が低下する場合があります。
- ㉒ 照明器具は消灯するか、遠ざけて使用してください。
 - 受光器が照明に反応している場合は受光 LED が点灯します。この状態ではレーザー光を正しく受光できません。
 - 蛍光灯は、点灯後の数分間あるいはちらついている場合に障害が出る場合があります。
 - 特に古い蛍光灯や水銀灯などは障害が出る場合があります。

免責事項

- 取扱説明書の記載をよく守ってご使用ください。
取扱説明書に記載された用途以外の使い方によって生じた損害（事業の中断等による損失を含む）について、当社は一切責任を負いません。
- 使用前、使用後には必ず精度確認を行ってください。また、本製品に転倒・落下等による衝撃が加わった場合にも同様に精度確認を行ってください。
精度確認を行わなかった場合の誤作業によって生じた損害について、当社は一切責任を負いません。
- 本製品の本来の用途以外の使用によって生じた損害について、当社は一切責任を負いません。
- 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、第三者の行為、その他の事故等による損害について、当社は一切責任を負いません。

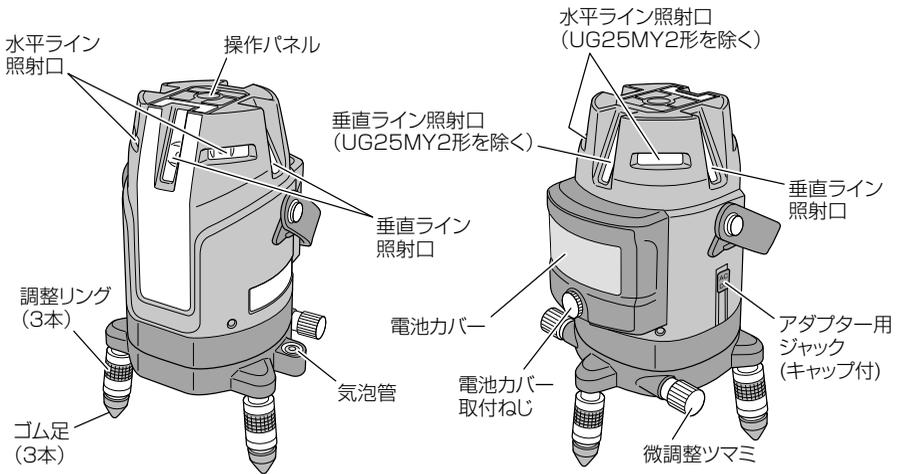
各部の名称

⚠ 注意

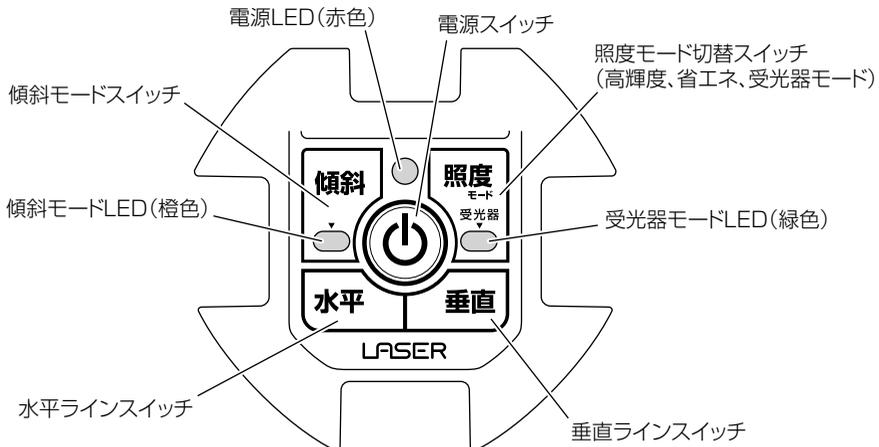
操作パネルに強い衝撃を与えたり、破いたりしないでください。
故障の原因になります。

レーザー墨出し器

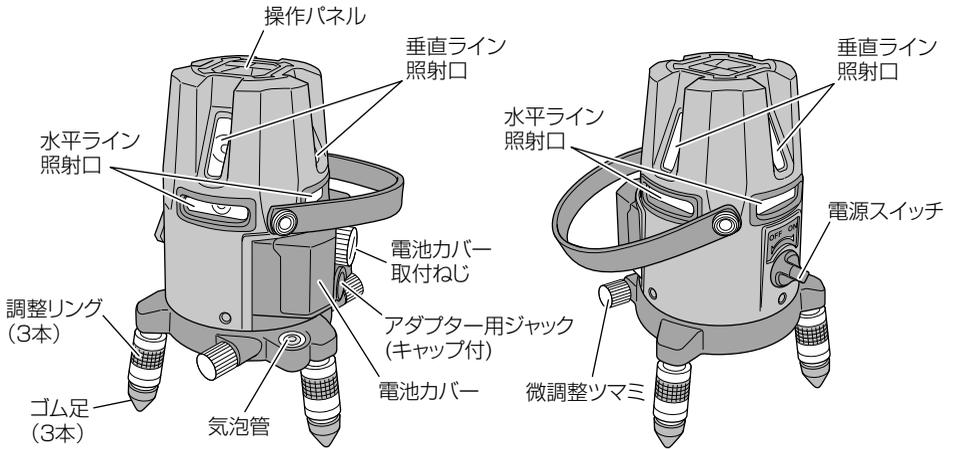
電子ジブバル式 UG 25MY2 / UG 25MBY2 / UG 25MBCY2 形



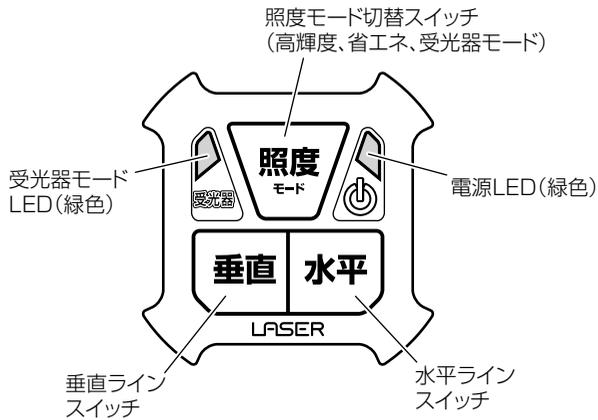
〈操作パネル部詳細〉



機械ジンバル式 UG 25MB3 形



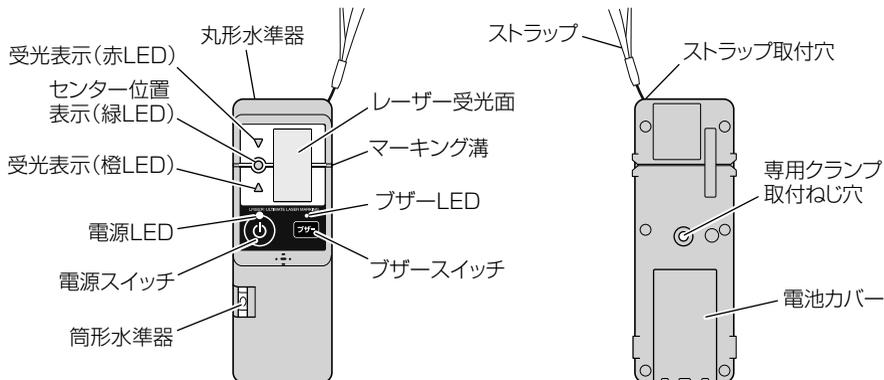
〈操作パネル部詳細〉



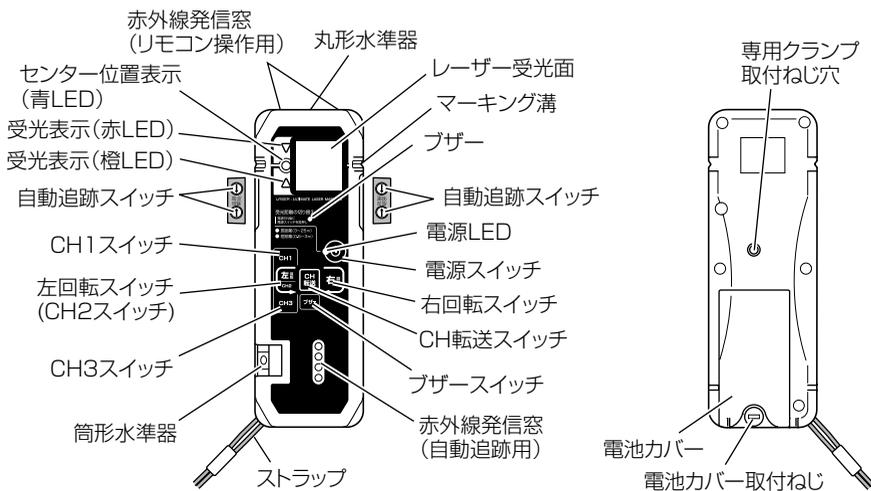
受光器

(別売となる仕様もあります)

UG 25MY2 / UG 25MBY2 / UG 25MB3 形

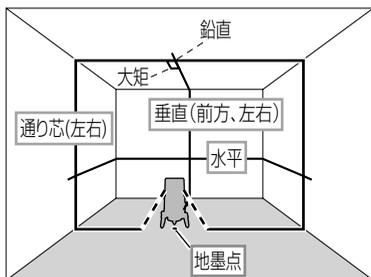


UG 25MBCY2 形

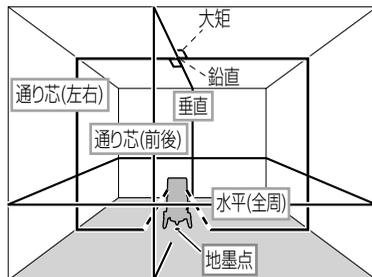


照射ライン数

UG 25MY2 形 (4ライン)



UG 25MBY2 / UG 25MBCY2 / UG 25MB3 形 (8ライン)



仕 様

レーザー墨出し器

形 名	UG 25MY2	UG 25MBY2	UG 25MBCY2	UG 25MB3	
ジナル方式	電子式			機械式	
ライン数	4	8			
自動追跡機能	×		○	×	
リモコン機能	×		○	×	
使用電源	① 単3乾電池 4本 ② コードレス工具用蓄電池の場合 <ul style="list-style-type: none"> ● スライド式 (14.4 / 18 V Li-ion) コードレス USB アダプタ (BSL18UA) + USB ケーブル 出力電圧 DC5 V ● さし込み式 (9.6 / 12 / 14.4 V Ni-Cd, Ni-MH, Li-ion) DC アダプタ 出力電圧 DC5 V (14.4 V は Li-ion 蓄電池 EBL1430、EBM1430R のみ使用可^{*1}) ③ AC 100 V の場合 AC アダプタ 出力電圧 DC5 V				
使用距離	10 m (受光器 [*] 使用時 25 m) [*] 別売りとなる仕様もあります。				
レーザー	水平・垂直ライン：可視光半導体レーザー 635 nm 地墨点：可視光半導体レーザー 650 nm 出力：1.0 mW 以下 (クラス 2 ^{**2})				
指示精度	水平・垂直ライン ± 1 mm / 10 m				
線幅	1.5 mm / 5 m				
大矩直角度	90° ± 0.01° (± 1 mm / 5 m)				
鉛直指示精度	± 1 mm / 2.5 m				
自動補正範囲	± 2 度 (範囲外ライン消灯)				
制動方式	電子二軸センサー制御方式			磁気ブレーキ式	
使用温度	-5℃ ~ 40℃				
防じん・防滴	保護等級 IP54 ^{**3}				
使用時間 ^{**4}	高輝度モード	約 4.5 時間	約 2 時間	約 1.7 時間	約 3 時間
	受光器モード	約 10 時間	約 7 時間	約 6.5 時間	約 9 時間
	省エネモード (全ライン点灯)	約 30 時間	約 25 時間	約 20 時間	約 65 時間
(アルカリ乾電池使用)					
機体の大きさ (外径 × 高さ)	φ 148 × 220 mm			φ 135 × 193 mm	
質量 (乾電池を含む)	1.4 kg		1.5 kg		1.0 kg

※1 DC アダプター (コード No.321413) は、リチウムイオン蓄電池に対応していません。

※2 JIS C6802 : 2014 によるレーザークラス。

※3 水の飛まつ、粉じんによる有害な影響を受けない。

7 ※4 使用時間は作業内容や乾電池の種類によって短くなることがあります。

受光器

(別売となる仕様もあります)

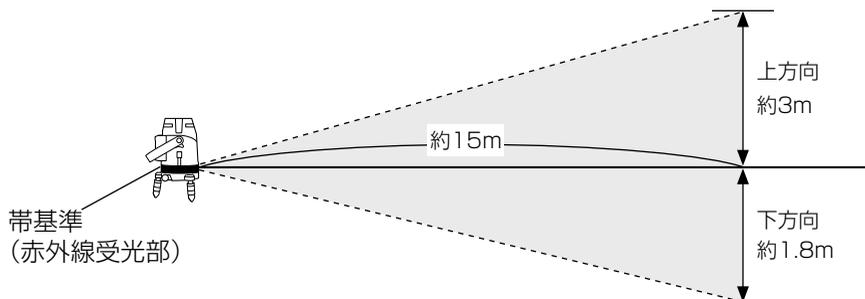
適用墨出し器 形名	UG 25MY2 UG 25MBY2 UG 25MB3	UG 25MBCY2
レーザー受光距離 ^{※1}	25 m	短距離モード(電源LED: 緑色) 0.5 ~ 3 m 長距離モード(電源LED: 赤色) 3 ~ 25 m
検出精度	± 1 mm / 25 m	
検出表示	LED点灯 (センター位置 : 緑色、 センター位置以外 : 赤色または橙色) ブザー(オン/オフ機能あり)	LED点灯 (センター位置 : 青色、 センター位置以外 : 赤色または橙色) ブザー(オン/オフ機能あり)
自動追跡使用距離 ^{※1}	—	1 ~ 15 m
リモコン使用距離 ^{※1}	—	1 ~ 15 m
使用温度	-5℃ ~ 40℃	
防じん・防滴	保護等級 IP54 ^{※2}	
電源	9V 角形乾電池 1本	単4形乾電池 4本
外径寸法 (幅×高さ×高さ)	54 × 24 × 150 mm	60 × 25 × 175 mm
質量	140 g (乾電池を含む)	175 g (乾電池を含む)

※1 使用環境によって変わることがあります。

※2 水の飛まつ、粉じんによる有害な影響を受けない。

リモコン機能、自動追跡機能 使用距離 (UG 25MBCY2 形のみ) : 約 15 m

(図に示す範囲)

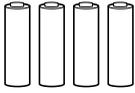


注 • 使用距離は環境によって変わることがあります。

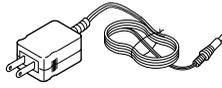
• レーザー光の受光距離は約 25 m です。

標準付属品

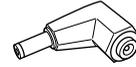
① 単3形アルカリ乾電池



② ACアダプタ (UG 25MB3 形を除く)



③ DC変換ジャック (UG 25MB3 形のみ)

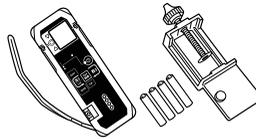


(使い方は P.13、31 参照)

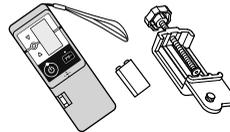
④ 受光器セット

受光器本体
専用クランプ
単4形アルカリ乾電池 (4本)
(UG 25MBCY2 形のみ)
9V 角形乾電池 (1本)
(UG 25MBCY2 形を除く)

UG25MBCY2 のみ
(リモコン機能付き)



UG 25MY2 / UG 25MBY2 /
UG 25MB3



⑤ アルミケース (ベルト付)



⑥ 三脚アダプタ



注 三脚を使用するときは、
必ず三脚アダプタを取
付けてください。

(使い方は P.32 参照)

品名	形名 (仕様)		UG 25MY2		UG 25MBY2		UG 25MBCY2		UG 25MB3	
	(J)	(N)	(J)	(N)	(J)	(N)	(J)	(N)	(J)	(N)
① 単3形アルカリ乾電池	4本	4本	4本	4本	4本	4本	4本	4本	4本	4本
② ACアダプタ	1個	1個	1個	1個	1個	1個	1個	—	—	—
③ DC変換ジャック	—	—	—	—	—	—	—	1個	1個	1個
④ 受光器セット (受光器・クランプ・乾電池)	1セット	(別売)	1セット	(別売)	1セット	(別売)	1セット (リモコン機能付)	1セット	(別売)	1セット
⑤ アルミケース	1個	1個	1個	1個	1個	1個	1個	1個	1個	1個
⑥ 三脚アダプタ	1個	1個	1個	1個	1個	1個	1個	1個	1個	1個

別売部品 (別売部品は生産を打ち切ることがありますので、ご了承ください)

詳しくは、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

●コードレスUSBアダプタ (BSL 18UA)

●USBケーブル (長さ 1.2 m)

電源として、弊社コードレス工具用スライド式蓄電池を使用する場合に下図のように接続してお使いください。

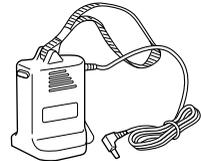
(P.7、13、31 参照)



●DCアダプタ

電源として、弊社コードレス工具用さし込み式蓄電池を使用する場合にお使いください。

(P.7、13 参照)



●ACアダプタ

AC100 V 電源を使用する場合にお使いください。

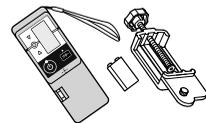
(P.7、13 参照)



●受光器セット

屋外や明るい場所でレーザーラインが見えにくい場合にお使いください。

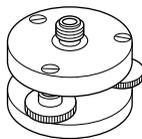
(P.25 参照)



●整準台

三脚、軽天マウントを使用する場合の水準調整にお使いください。

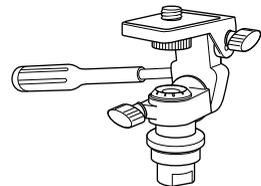
(P.32 参照)



●傾斜雲台

傾斜したラインを照射する作業にお使いください。

(P.33 参照)



●三脚

機体の設置高さを変えて作業する場合にお使いください。

(P.32 参照)

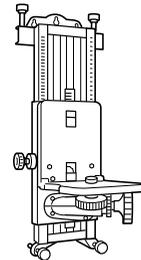


●軽天マウント

三脚の届かない高所での水平出し作業にお使いください。

(一緒に整準台もご使用ください。)

(使い方は軽天マウントの取扱説明書を参照してください。)



●メガネ

明るい場所でレーザーラインが見やすくなります。
(レーザー光から目を保護するものではありません。)



ご使用前の準備

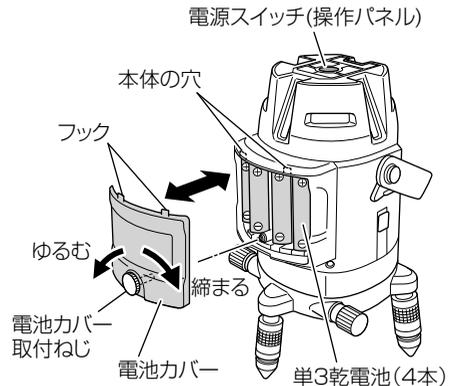
● 乾電池の取付け / 交換

- 注**
- 乾電池の電極プラス (+)、マイナス (-) を間違えないでください。
 - 電源スイッチを入れたとき、電源 LED が点灯しない場合は、乾電池のさし込み方向を確認してください。
 - 乾電池は全数を同時に交換してください。古い乾電池と新しい乾電池を混用して使用しないでください。
 - 乾電池を一般のごみと一緒に捨てたり、火の中へ入れないでください。

レーザー墨出し器

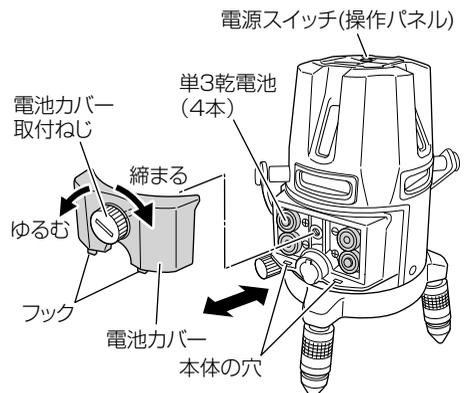
UG 25MY2 / UG 25MBY2 / UG 25MBCY2 形

- ① 電池カバーの取付ねじをゆるめて、電池カバーを取りはずします。
- ② 新しい単3形乾電池4本を、電池ケースの表示に合わせ (+)(-) を正しく入れます。
- ③ 本体の穴にフックを合わせて電池カバーをかぶせ、取付ねじを締付けます。
- ④ 電源スイッチを入れ、操作パネルの電源 LED が点灯することを確認してください。



UG 25MB3 形

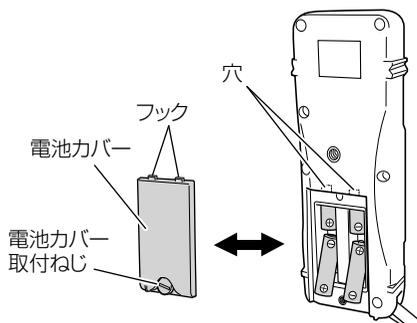
- ① 電池カバーの取付ねじを、コインなどを使いゆるめて、電池カバーを取りはずします。
- ② 新しい単3形乾電池4本を、電池ケースの表示に合わせ (+)(-) を正しく入れます。
- ③ 本体の穴にフックを合わせて電池カバーをかぶせ、取付ねじを締付けます。
- ④ 電源スイッチを入れ、操作パネルの電源 LED が点灯することを確認してください。



受光器

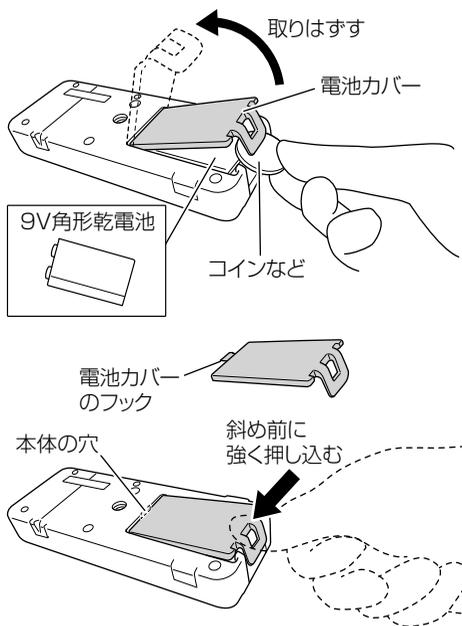
UG 25MBCY2 形

- ① 電池カバーを取りはずします。
- ② 新しい単 4 形乾電池 4 本を、電池ケースの表示に合わせ (+)(-) を正しく入れます。
- ③ 本体の穴にフックを合わせて、電池カバーを取付けます。
- ④ 電源スイッチを押すと、ブザーが「ピー」と鳴り、操作パネルの電源 LED が点灯することを確認してください。



UG 25MY2 / UG 25MBY2 / UG 25MB3 形

- ① 電池カバーをコインなどを使い、右図のように取りはずします。
- ② 新しい 9V 角形乾電池を、電池ケースの表示に合わせ (+)(-) を正しく入れます。
- ③ 本体の穴にフックを合わせて、親指で斜め前に押し込み電池カバーを取付けます。
- ④ 電源スイッチを押すと、ブザーが「ピー」と鳴り、操作パネルの電源 LED が点灯することを確認してください。



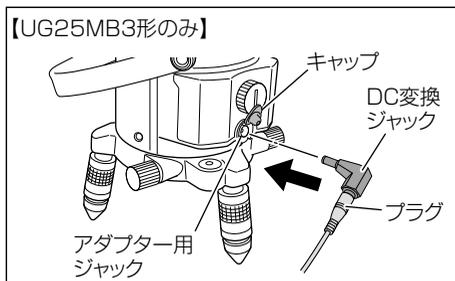
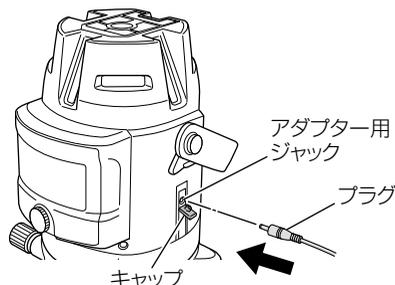
● USB ケーブル、DC、AC アダプタ (別売部品) の取付け

レーザー墨出し器は、乾電池以外でも付属の AC アダプタ (UG 25MB3 形は別売) や別売のコードレス USB アダプタ、DC アダプタなどを電源として使用することができます。

⚠ 警告

USB ケーブル、DC、AC アダプタ (別売部品) は専用のものを使用してください。火災や故障の原因になります。

- ① 電源スイッチが切れていることを確認します。
- ② 機体側面のキャップを開け、アダプタ用ジャックに USB ケーブル、DC あるいは AC プラグをさし込みます。
UG 25MB3 形の場合は、あらかじめプラグに DC 変換ジャックを取付けます。
- ③ DC、AC アダプタを電源に接続します。(USB ケーブルは P.31 参照)
- ④ 電源スイッチを入れ、操作パネルの電源 LED が点灯することを確認してください。



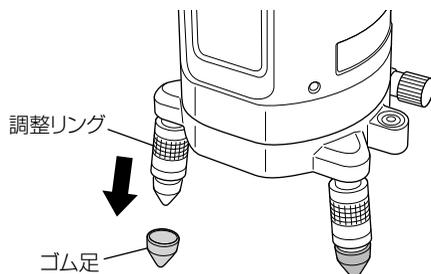
注 乾電池と AC または DC アダプタを併用した場合、AC または DC アダプタ側が電源として優先されます。

● 調整リングのゴム足について

調整リングのゴム足は着脱可能です。

床面が滑りやすい鏡面または軟らかく傷つきやすい場合などには、ゴム足をつけたまま使用してください。

コンクリートなど床面が凸凹に荒れている場合などは、ゴム足を取りはずして使用することができます。



レーザーを照射する

警告

- レーザー光を直接のぞきこんだり、人のいる方向には絶対に向けないでください。レーザー光が目に入ると、目を痛める原因になります。
- レーザー光を光学機器で直接見ないでください。
望遠鏡や双眼鏡、ルーペなどでレーザー光を見ると、目を痛めます。

- 注**
- 床面の傾斜が大きいとすべてのラインと地墨点が照射されません。気泡管の気泡が中央にくるように調整リング3本で調整してください。
 - 本製品は防滴構造となっていますが、雨の中では使用しないでください。
また、照射口に水滴を付けないでください。
故障や精度不良の原因になります。
 - レーザー光が薄くなったとき、または電源LEDが点滅しているときは、乾電池が切れかかっています。全数を同時に取替えてください。(P.11「乾電池の取付け / 交換」参照)
 - 受光器は指定のものを使用してください。
指定以外を使用すると、受光不良や受光精度不良の原因になります。
(P.25「受光器の使い方」参照)
 - 使用後は必ず電源スイッチを切って、付属のケースに入れて保管してください。

● 水平・垂直ラインを照射する

1

機体を設置する

- 気泡管の気泡が円印の中央にくるように、調整リング3本を回して水平を調整します。
- 機体を三脚に取付けて作業するときは、別売の整準台を利用すると水平が調整しやすくなります。
(P.32「三脚の使い方」、「整準台の使い方」参照)

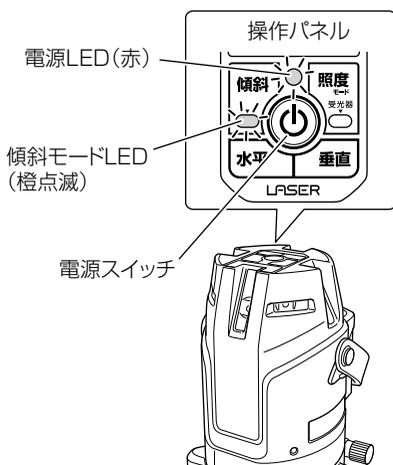


2

電源を入れる

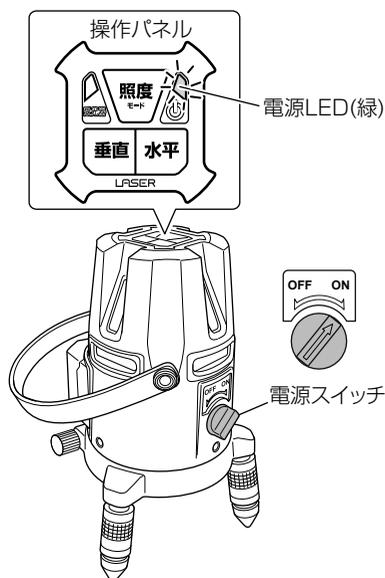
UG 25MY2 / UG 25MBY2 / UG 25MBCY2 形

- 電源スイッチを押して電源を入れ、操作パネルの電源LEDが点灯することを確認します。
- 電源を入れると水平出し自動調整機能が作動し、傾斜モードLED(橙色)が点滅します。
(P.19「自動調整(水平出し)機能について」参照)
- 傾斜モードLED(橙色)が消灯したら使用可能です。



UG 25MB3 形

- 電源スイッチをON側に回して電源を入れ、操作パネルの電源LEDが点灯することを確認します。



3

水平、垂直ラインを選択する

- 作業に応じて、操作パネルの水平あるいは垂直ラインスイッチを押して、ラインを選択します。
- 照射口からレーザー光が照射されます。
- 照射ラインは下表により切替えられます。

UG 25MY2 /
UG 25MBY2 /
UG 25MBCY2 形



UG 25MB3 形

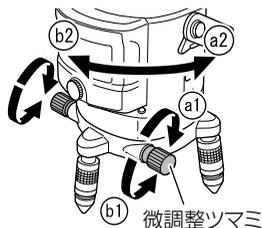


		UG 25MY2	UG 25MBY2 / UG 25MBCY2 / UG 25MB3
スイッチ	押す回数	照射ライン	
水平	1回	正面のみ水平ライン照射	正面のみ水平ライン照射
	2回	ライン消灯	水平ライン全周照射
	3回	—	ライン消灯
垂直	1回	正面の垂直ラインと地墨点を照射	正面の垂直ラインと地墨点を照射
	2回	正面と左の垂直ライン、地墨点を照射	正面と左の垂直ライン、地墨点を照射
	3回	正面と左右の垂直ライン、地墨点を照射	前後左右の垂直ラインと地墨点を照射
	4回	ライン消灯	ライン消灯

4

ライン位置を微調整する

- 機体(上部)を左右回転方向に回してライン位置を調整し、微調整ツマミで正確に基準線に合わせます。
- 微調整ツマミを(a1)方向に回せば機体は(a2)方向に回り、微調整ツマミを(b1)方向に回せば機体は(b2)方向に回ります。



5

作業する

照射されたラインを基準に、作業します。

6

電源を切る

作業後は電源を切り、付属のケースに入れて保管してください。

注 UG 25MB3 形の電源を切る際は、電源スイッチを確実に OFF 位置まで回し、内部(ジンバル)が固定されていることを確認してください。



● 傾斜したラインを照射する（UG 25MB3 形を除く）

1

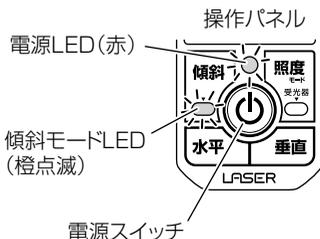
機体を設置する

傾斜ラインを照射するには、別売の三脚、傾斜雲台を使用します。
三脚に傾斜雲台、機体を取付け、壁面から2～3 mはなして設置します。
(P.32「三脚の使い方」、P.33「傾斜雲台の使い方」参照)

2

電源を入れる

- 電源を入れ、操作パネルの電源LEDが点灯することを確認します。
- 電源を入れると水平出し自動調整機能が作動し、傾斜モードLED(橙色)が点滅します。
(P.19「自動調整(水平出し)機能について」参照)
- 傾斜LED(橙色)が消灯したら使用可能です。



3

水平、垂直ラインを選択し、傾斜モードスイッチを押す

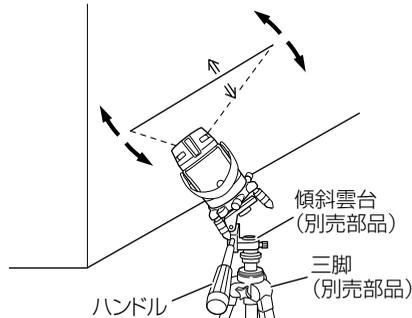
- 作業に応じて、操作パネルの水平あるいは垂直ラインスイッチを押してラインを選択した後、傾斜モードスイッチを押します。
- 傾斜モードLED(橙色)が点灯し、照射口からレーザー光が照射されます。



4

ライン位置を微調整する

傾斜雲台のハンドルをゆるめ、狙った角度に機体を傾けます。



- 傾斜モードでは3秒に1回、ラインおよび地墨点が点滅します。
- 傾斜モードでは、水平・垂直出しの作業は行えません。
- 傾斜モードでは、照度モードの切替えは行えません。

5

作業する

照射されたラインを基準に、作業します。

6

電源を切る

作業後は電源を切り、付属のケースに入れて保管してください。

照度モードの切替

照射ラインの明るさを、3つのモードに切替えることができます。

照度モード	特 徴	受光器モード LED
高輝度モード	明るい高輝度ラインを照射します。 明るい場所で使用します。	消灯
省エネモード	ラインを暗くして電池寿命を最も延ばすモードです。 暗い場所での作業に使用できます。	消灯
受光器モード	リモコン受光器を使用するときを選択します。	緑点灯

※ 照射ラインの明るさは、「高輝度モード」>「受光器モード」>「省エネモード」の順になります。

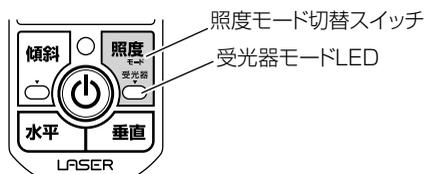
本機は、ご購入後に初めて電源を入れたときは、高輝度モードになります。

操作パネルの照度モード切替スイッチを押すたびに、「高輝度モード」→「省エネモード」→「受光器モード」の順に切り替わります。最適なモードに切替えてください。

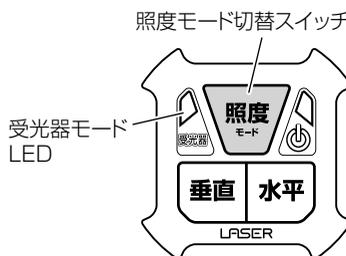
また、本機は電源を切った時に使用していた照度モードを記憶し、次に電源を入れたときに同じ照度モードで照射を開始します。

〈操作パネル〉

UG 25MY2/UG 25MBY2/UG 25MBCY2 形



UG 25MB3 形



● 照射ラインの点滅機能について

操作パネルの水平あるいは垂直ラインスイッチを長押しすると、長押しした水平あるいは垂直ラインが約15秒間高輝度モードで点滅します。

ラインがどこにあるか分かりにくい場合に、ラインを探しやすくなります。

点滅終了後は直前の照度モードに戻ってラインを照射します。

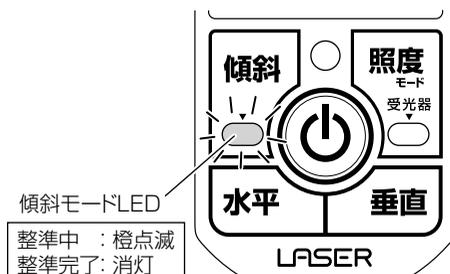
自動調整（水平出し）機能について（UG 25MB3 形を除く）

本製品は水準センサーとモーターを組合わせ、機体が 2° 以内の傾きであれば、自動的に「水平出し」を行う自動調整機能があります。

電源を入れると「水平出し」を始め、操作パネルの傾斜モードLEDが橙色に点滅します。

「水平出し」が完了すると、傾斜モードLED（橙色）は消灯し、使用可能になります。

また、自動調整中にラインを照射した場合、レーザーラインは点滅し完了すると連続点灯になります。（受光器モードを除く）



- 注**
- 一度自動調整が完了しても、本体が傾いた場合や振動が加わった場合は再度、自動調整を開始します。
 - 自動調整中はジジジ…と音がしますが、モーターの作動音であり故障ではありません。
 - 電源が入った状態で水平あるいは垂直ラインスイッチを押してもレーザーラインが照射されないときは、機体が 2° 以上傾いています。気泡管の気泡が中心になるように調整リングなどで調整してから、再度自動調整を行ってください。

精度のご確認（使用前、使用后）

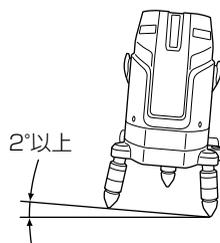
各精度確認の結果、正常でない場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。

⚠️ 注意

使用前、使用后には必ず全項目の精度を確認してください。
故障した状態で使用すると、誤作業の原因になります。

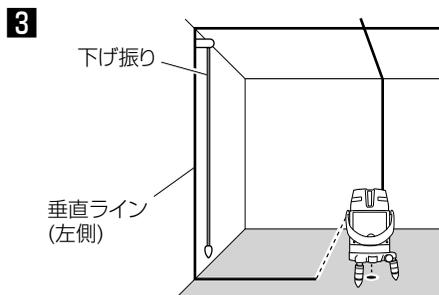
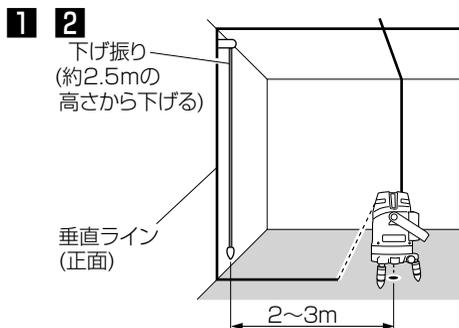
● 傾斜時のライン消灯

- 1 電源スイッチを入れ、ラインを照射します。
- 2 機体をゆっくり傾け（ 2° 以上）、レーザー光が全て消灯すれば正常です。



● 垂直ライン

- 1 壁面に、お手持ちの下げ振りを約 2.5 m の高さから下げ、糸から 2 ~ 3 m はなして本体を床に置きます。
- 2 電源を入れ、ライン切替スイッチの「垂直」を押して、すべての垂直ラインを照射します。
正面の垂直ラインが、糸全域に照射されていれば正常です。
- 3 機体を右に 90° 回転し、正面に向けた左側の垂直ラインが、糸全域に照射されていれば正常です。
同じ手順で、他の垂直ラインも確認します。



使い
方

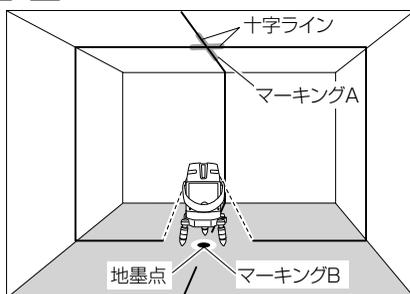
●鉛直点

1 機体を床に設置し、電源を入れ、操作パネルの「垂直」を押して、天井面（高さ 2.5 m）に十字ラインを照射します。

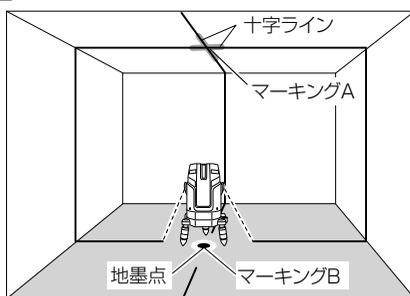
2 天井面に付けたマーキング A に十字ライン交点を合わせ、地墨点の位置にマーキング B を付けます。

3 機体を 180° 回転し、地墨点とマーキング B が合わないときは、地墨点をマーキング B に合わせます。このとき十字ライン交点とマーキング A の誤差が 2 mm 以内であれば正常です。

1 2



3



● 水平ラインの左右（傾き）方向

1 正面壁面から2～3mはなして機体を床に設置し、電源を入れ、操作パネルの「水平」を押して水平ラインを照射します。

2 機体を右方向に回転し、正面壁面に照射された水平ラインの左端にマーキング（横線）を付けます。

3 機体を正面に戻して水平ライン中央部をマーキングに合わせ、水平ラインとマーキングの誤差が1mm以内であれば正常です。

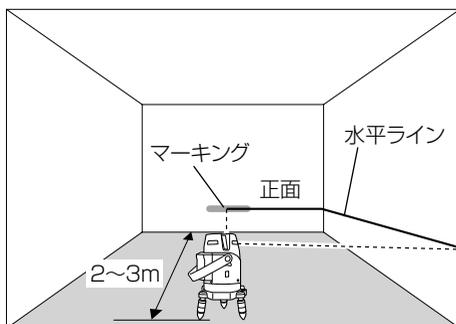
4 さらに機体を左方向に回転し、水平ラインの右端をマーキングに合わせ、水平ラインとマーキングの誤差が1mm以内であれば正常です。

以下は、【UG 25MY2 形を除く】

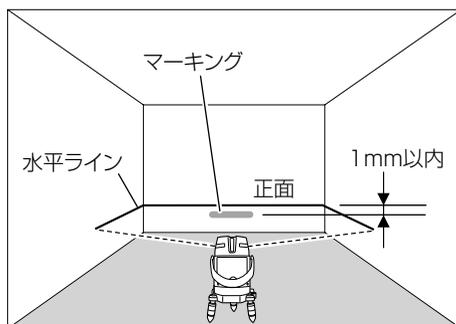
5 操作パネルの「水平」をもう1回押して他の水平ライン（全周）を照射し、始めに確認したラインの照射口をふさぎます。

6 同じ手順で、他の水平ラインも確認します。

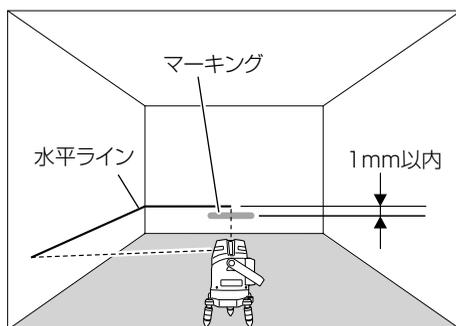
1 2



3



4



使
い
方

● 水平ラインの仰角（上下）方向

1 間隔が 6 m ぐらいある左右壁面の中央の床に機体を設置し、右壁面に向けます。

2 電源を入れ、操作パネルの「水平」を押して、右壁面に水平ラインを照射します。

3 照射された水平ライン中央部にマーキング A1(横線)を付けます。

4 機体を 180°回転し、左壁面に水平ラインを照射し、水平ライン中央部にマーキング B1(横線)を付けます。

5 機体を左壁面から 1 m ぐらいの位置まで近づけ、機体を高さ 10 mm 以上の台の上に置き、左壁面に水平ラインを照射します。水平ライン中央部にマーキング B2(横線)を付けて、B1 と B2 の間隔 (L2) を読みとります。

6 機体を 180°回転し、右壁面に水平ラインを照射します。水平ライン中央部にマーキング A2(横線)を付けて、A1 と A2 の間隔 (L1) を読みとります。

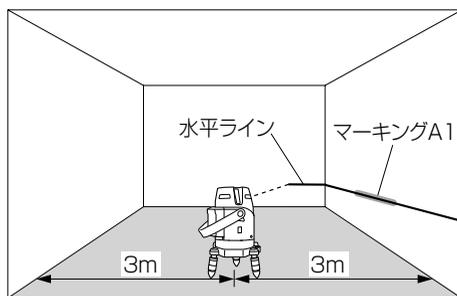
7 L1(A1 と A2 の間隔) と L2(B1 と B2 の間隔) の誤差が 1 mm 以内であれば正常です。

以下は、【UG 25MY2 形を除く】

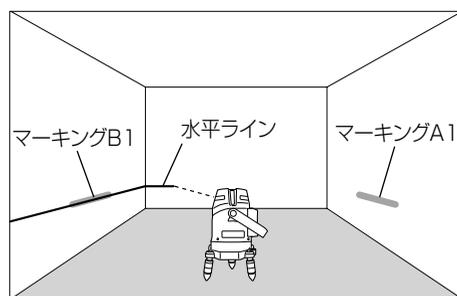
8 操作パネルの「水平」をもう 1 回押して他の水平ライン(全周)を照射し、始めに確認したラインの照射口をふさぎます。

9 同じ手順で、他の水平ラインも確認します。

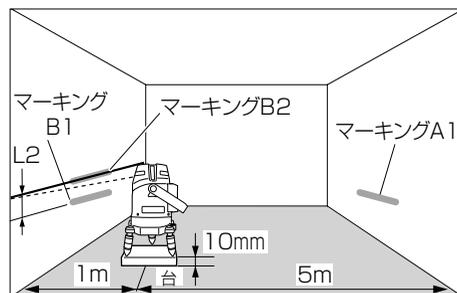
1 2 3



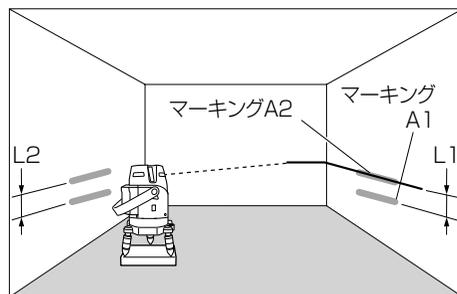
4



5



6



●大矩、通り芯ラインの直角度

1 間隔が4～6mぐらいある四方壁面の中心の床に機体を設置し、正面壁面に向けます。

2 電源を入れ、操作パネルの「垂直」を押して、垂直ラインを全て照射します。

3 正面壁面に照射された垂直ライン中央部にマーキング A(縦線)を付け、左壁面に照射された左右通り芯ライン中央部にマーキング B(縦線)を付けます。

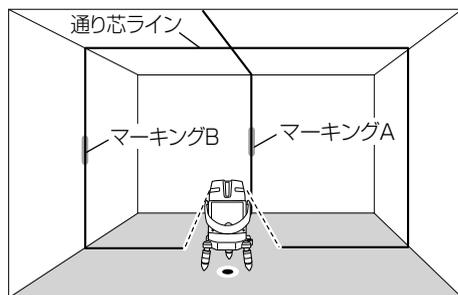
4 機体を左に90°回転し、左壁面のマーキング Bに正面垂直ラインを合わせ、背面壁面に照射された左右通り芯ライン中央部にマーキング C(縦線)を付けます。

5 次に機体を左に90°回転し、背面壁面のマーキング Cに正面垂直ラインを合わせ、右壁面に照射された左右通り芯ライン中央部にマーキング D(縦線)を付けます。

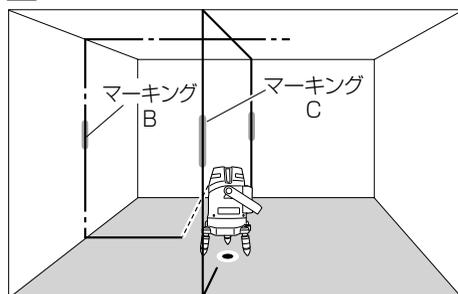
6 さらに機体を左に90°回転し、右壁面のマーキング Dに正面の垂直ラインを合わせます。正面壁面に照射された左右通り芯ラインとマーキング Aの誤差が3 mm 以内であれば正常です。

7 同じ手順で、前後通り芯ライン(UG 25MY2 形を除く)も確認します。

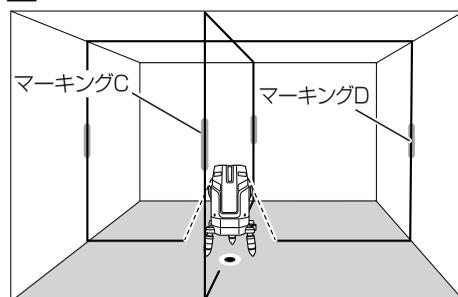
1 2 3



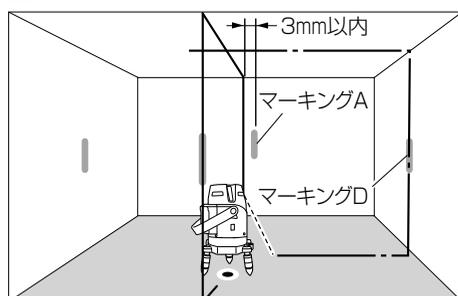
4



5



6



受光器の使い方

- 明るい場所でラインが見にくい場合、受光器として使用する。
- リモコンとして、墨出し器を遠隔操作する。(UG 25MBCY2 形のみ)

- 注**
- 使用範囲はレーザー墨出し器から 25 m 以内です。(使用環境により、検出距離は若干異なる場合があります)
 - レーザー受光面に強い太陽光が直射した状態で使用しないでください。本来の性能が十分に発揮されない場合があります。
 - センター位置表示の精度は距離 25 m 以内で± 1 mm です。

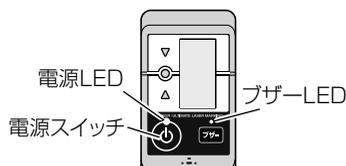
UG 25MY2 / UG 25MBY2 / UG 25MB3 形

1 レーザー墨出し器を受光器モードに切替える

レーザー墨出し器の電源を入れ、照度モード切替えスイッチで受光器モードに切替えます。(P.18「照度モードの切替」参照)

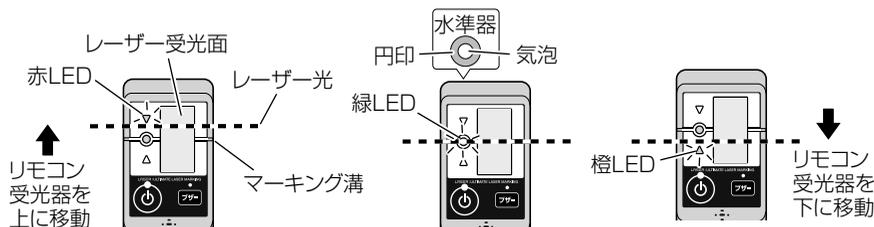
2 受光器の電源を入れる

受光器の電源スイッチを押すと、電源 LED が緑色に点灯して、レーザー光が受光可能な状態になります。(同時にブザー LED が赤く点灯します。)



3 レーザー光を探す

- ① レーザー墨出し器からレーザー光の出ていることを確認します。
- ② 水平ラインを探す場合は受光器を縦にして上下に動かし、垂直ラインを探す場合は受光器を横にして左右に動かしてください。
- ③ レーザー光のありそうな付近に受光器のレーザー受光面を合わせます。受光範囲内になると赤あるいは橙 LED(受光表示) が点灯し、ブザーが「ピッピッ」と鳴ります。
- ④ 赤あるいは橙 LED が点灯したら、少しずつゆっくりと動かします。
- ⑤ 受光器の水準器を合わせた状態で緑 LED(センター表示) が点灯するように合わせます。このときブザーが「ピー」と鳴ります。
- ⑥ 合った位置でマーキング溝を利用してマーキングをします。



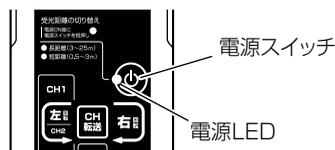
1 レーザー墨出し器を受光器モードに切替える

レーザー墨出し器の電源を入れ、照度モード切替えスイッチで受光器モードに切替えます。

(P.18「照度モードの切替」参照)

2 受光器の電源を入れる

受光器の電源スイッチを長押し(約0.5秒)すると、電源LEDが赤く点灯して、レーザー光が受光可能な状態になります。



3 受光距離を切替える

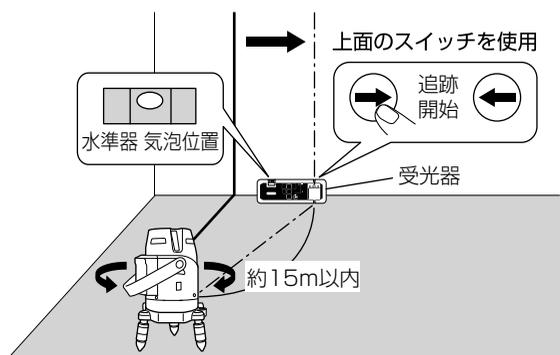
電源スイッチを短押し(約0.1秒)し、長距離または短距離に切替えます。

受光距離	電源 LED
長距離 (3 ~ 25 m)	赤色
短距離 (0.5 ~ 3 m)	緑色

- 注**
- 電源LEDが赤色(長距離)のとき、3m以下で使用すると、検出精度が悪くなります。
 - 短距離の場合、墨出し器本体を受光モードに切替えずとも受光器は反応しますが、精度が悪い状態です。
 - 電池残量が少なくなると電源LEDが点滅します。

4 レーザー光を探す〔自動追跡させる場合〕

- 受光器の水準器の気泡を中央に合わせ、所定の位置に置き、受光器側面の自動追跡スイッチを押すとブザーが「ピッ」と鳴り自動追跡を開始します。このとき、必ず受光器上面のスイッチを使用してください。下面のスイッチを使用すると自動追跡できません。
- スイッチは左右回転どちらか、垂直ラインが受光器に早く到達する方向を選択してください。方向を変えたい場合は、左右回転どちらかのスイッチを押すとブザーが「ピッピッ」と鳴り停止しますので、停止後に再度、正しい方向の追跡スイッチを押してください。
- 垂直ラインが受光面のセンターに合うと青色LEDが点灯し、約3秒間連続点灯後に自動追跡動作を停止します。このときブザーが「ピーッピッ」と鳴ります。

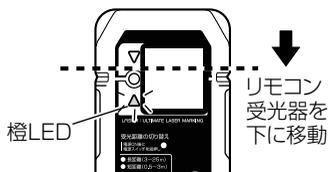


- 注** ●自動追跡動作中にレーザー光または赤外線通信がさえぎられると動作を停止します。
 停止後に青色 LED が点灯していないときはもう一度、自動追跡をしてください。
- 自動追跡中はジジジ…と音がしますが、モーターの動作音であり故障ではありません。
 - 自動追跡する際は、水平ラインを消してください。
 水平ラインが受光面に当たると、垂直ラインを正しく認識できません。
 - レーザー墨出し器が 1° ～ 2° 傾斜している場合は動作完了までの時間が長くなります。

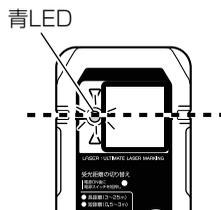
●レーザー光を手動で探す場合

- 1** レーザー墨出し器からレーザー光が出ていることを確認します。

- 2** 水平ラインを探す場合は受光器を縦にして上下に動かし、垂直ラインを探す場合は受光器を横にして左右に動かしてください。

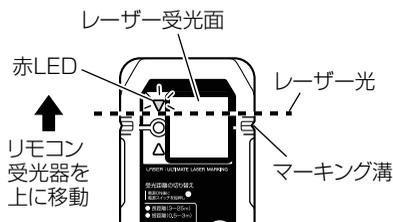


- 3** レーザー光のありそうな付近に受光器のレーザー受光面を合わせます。
 受光範囲内になると赤または橙 LED(受光表示) が点灯し、ブザーが「ピッピッ」と鳴ります。



- 4** 赤または橙 LED が点灯したら、少しずつゆっくりと動かします。

- 5** 受光器の水準器を合わせた状態で青 LED(センター表示) が点灯するように合わせます。このときブザーが「ピー」と鳴ります。



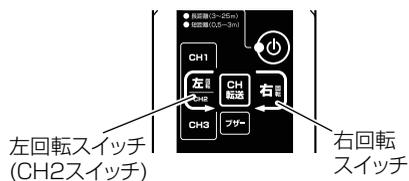
- 6** 合った位置でマーキング溝を利用してマーキングをします。

● リモコン機能について

本機では、本体を左右に回転させる遠隔操作ができます。

1 レーザー墨出し器からレーザー光が出ていることを確認します。

2 受光器を本体に向けて右記スイッチを押すと、押している間本体が回転します。



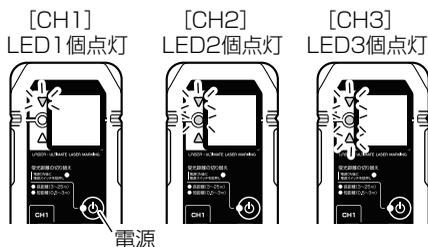
- 注**
- 蛍光灯など赤外線を含む光の下では正常に動作しない場合があります。
 - 回転速度は一定です。微調整はできません。

●チャンネル変更について

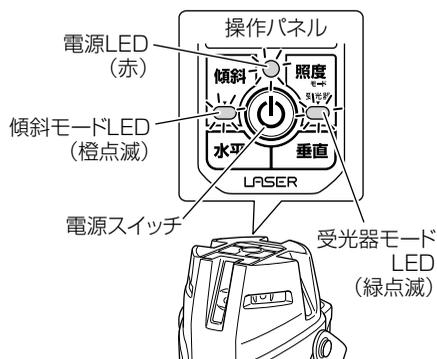
受光器は、はじめにレーザー墨出し器とペアリングをしないとリモコン機能をご利用できません。(本機は、出荷時に [CH1] でペアリング済みです。)

別売の受光器を購入した場合や同じ場所で本機を2台以上使う場合は、必ずはじめに以下の手順でペアリングを行ってください。

- 1 受光器の電源を入れ、点灯するLEDの数で受光器のチャンネルを確認します。



- 2 レーザー墨出し器の電源を入れ、操作パネルの電源LEDが点灯し、その後、左右のLED(傾斜モードLED(橙色)および受光器モードLED(緑色))が点滅する回数で、墨出し器のチャンネルを確認します。
[CH1]…1回点滅
[CH2]…2回点滅
[CH3]…3回点滅



チャンネルを変更する場合は、以下の手順で受光器とレーザー墨出し器の両方を同じチャンネルに設定します。

3 受光器の設定

電源が切れている状態で、[CH1][CH2][CH3]スイッチのいずれかを押しながら、電源スイッチを5秒以上押すとそのチャンネルに設定されます。

4 レーザー墨出し器の設定

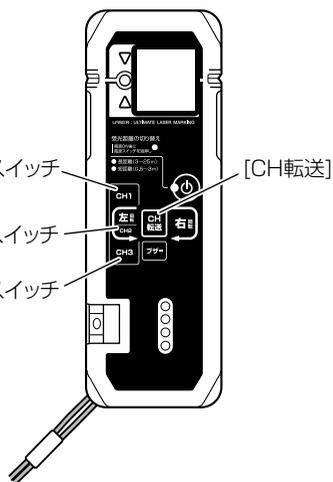
電源を入れて3秒以内に、受光器をレーザー墨出し器に向けて、[CH転送]スイッチを押します。

5 チャンネル設定の確認

受光器とレーザー墨出し器の電源を一度切ります。

上記 **1** **2** に従い、正しくチャンネルが設定されたことを確認してください。

注 チャンネルを切替えても信号が混信するため、2台同時に操作はできません。



オートオフ機能

レーザー光を受光していない場合や、各スイッチを操作せずリモコン通信していない状態が10分以上続いた場合は、ブザー音が「ピッピッ」と鳴り、自動的に電源が切れます。再度使用する場合は、電源スイッチを長押ししてください。

別売部品の使い方

●コードレス USB アダプタ、USB ケーブルの使い方

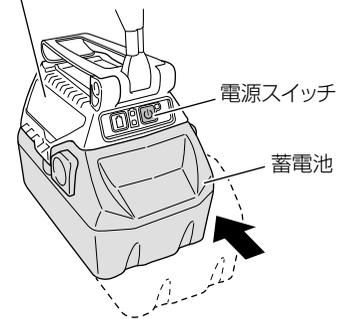
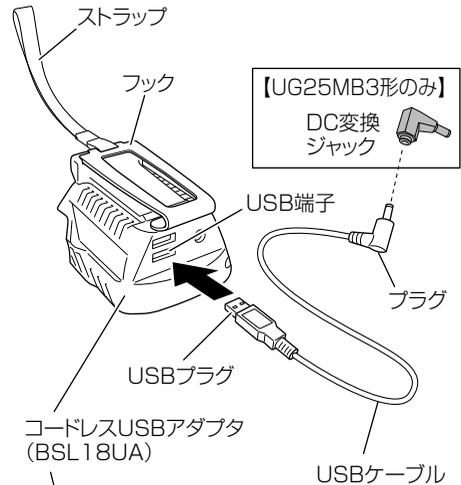
1 コードレス USB アダプタの USB 端子に USB ケーブルの USB プラグを接続します。

2 USB ケーブルのプラグを機体に接続します。(P.13「USB ケーブル、DC、AC アダプタ (別売部品) の取付け」参照)
(UG 25MB3 形には、DC 変換ジャックを使用します。)

3 コードレス USB アダプタに充電済の弊社コードレス用スライド式蓄電池を取付けます。

4 コードレス USB アダプタの電源スイッチを押して、電源を入れます。

- 注**
- 三脚を使用する場合は、三脚の足やハンドルにコードレス USB アダプタをフックやストラップを使って固定してください。
 - 蓄電池の残量が微量の場合、本体の電源 LED が点滅せず、ラインが消灯する場合があります。
 - コードレス USB アダプタは、付属の取扱説明書にしたがってお使いください。



●三脚の使い方〔直接機体を取付ける場合〕

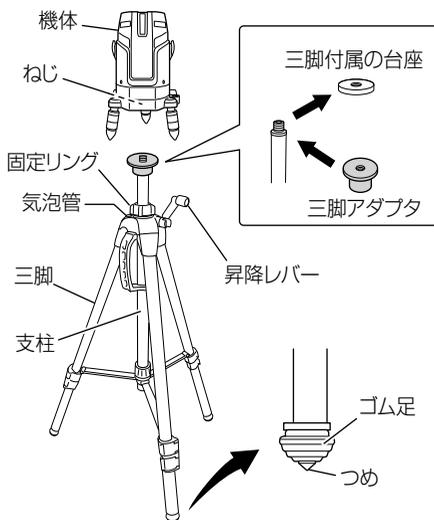
1 三脚を伸ばし、気泡管の気泡が円印の中央にくるように、三脚の脚長で水平を調整します。

2 昇降レバーを回し、台座を 50 mm ほど上昇させます。その後、三脚付属の台座を取りはずし、本体付属の三脚アダプタをねじ込みます。

注 三脚アダプタは、しっかりねじ込んでください。

3 三脚の台座に、機体を直接ねじ込み取付けます。

4 三脚の昇降レバーが重かったり、軽すぎる場合には、固定リングを回して荷重を調整します。



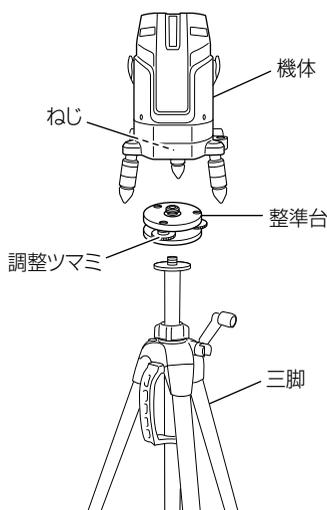
注 フロア材など、傷つきやすい部材の上で使用する場合は、三脚の石突部のゴム足を回し、つめを沈めて使用してください。

●整準台の使い方

1 三脚の取付け台に、整準台をねじ込みます。

2 整準台に機体をねじ込んで取付けます。

3 機体の気泡管の気泡が円の中央にくるように、整準台の調整ツマミで水平を調整します。整準台で調整しきれない場合は、三脚の脚長で水平を調整してください。



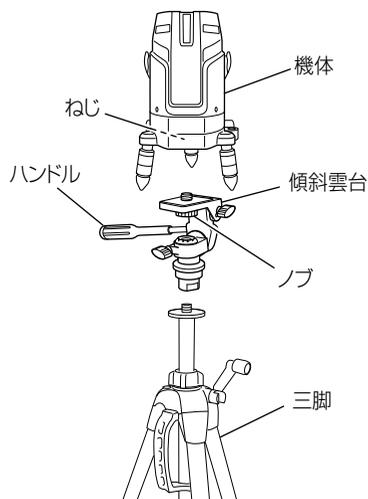
● 傾斜雲台の使い方 (UG 25MB3 形を除く)

1 三脚の台座に傾斜雲台をねじ込み、傾斜雲台のノブを回し、機体を傾斜雲台に取り付けます。

2 機体から傾斜ラインを照射して (P.17「傾斜したラインを照射する」参照) ハンドルをゆるめ、狙った角度に機体を傾けます。

3 照射されたラインの位置が決まったら、ハンドルを締付け、機体を固定します。

注 詳細は傾斜雲台の取扱説明書を参照してください。



保管について

- 使用後は必ず電源スイッチを切って、付属のケースに入れて保管してください。
- 長期間使用しないときは、乾電池をすべて抜いておいてください。
- 使用しない製品や付属品の保管場所として、下記のような場所は避け、安全で乾燥した場所に保管してください。

- 注**
- お子様の手が届いたり、簡単に持ち出せる場所には保管しない。
 - 軒先など雨がかったり、湿気のある場所には保管しない。
 - 温度が急変する場所、直射日光の当たる場所には保管しない。
 - 引火や爆発の恐れがある揮発性物質の置いてある場所には保管しない。
 - 振動がかかる場所には保管しない。

ご修理のときは

修理・お手入れ・お取扱いのご相談は、まずお買い求めの販売店にご依頼ください。
転居や贈答品などでお困りの場合は、商品名・品番をご確認の上、お近くの営業拠点へお問い合わせください。

全国営業拠点

お客様相談センター ※土・日・祝日を除く 9:00～17:00

●フリーダイヤル

 **0120-20-8822**

※携帯電話からはご使用になれません。

携帯電話からはお近くの営業拠点にお問い合わせください。

※長くお待たせする場合があります。

お急ぎのときは、お近くの営業拠点に直接お問い合わせください。

●営業本部 TEL (03) 5783-0626	●北陸支店 TEL (076) 263-4311
●北海道支店 TEL (011) 896-1740	●関西支店 TEL (0798) 37-2665
●東北支店 TEL (022) 288-8676	●中国支店 TEL (082) 504-8282
●関東支店 TEL (03) 6738-0872	●四国支店 TEL (087) 863-6761
●中部支店 TEL (052) 533-0231	●九州支店 TEL (092) 621-5772

■営業所の移転等により、上記電話番号に連絡がとれない場合は、
下記のアドレスにアクセスすることで、最新の全国営業拠点をご確認いただけます。

<http://www.koki-holdings.co.jp/powertools/sales.html>

WEBに
アクセス

バーコードリーダー機能付きの
携帯端末より読み取ることで、
最新の全国営業拠点をご確認
いただけます。



使
い
方

そ
の
他

レーザー墨出し器 保証書

形 名	UG 25MY2 UG 25MBCY2 UG 25MBY2 UG 25MB3	保証期間	本体：1年 (付属品は除く)
-----	---	------	-------------------

※お買い上げ日	平成	年	月	日	製造番号	
※お客様	お名前					
	ご住所	〒 電話 ()				
※販売店	住所	〒 電話 ()				
	店名					

※印欄に記入のない場合は無効となりますので必ずご確認ください。

保証期間内に取扱説明書などの注意書きにしたがった正常なご使用状態で故障した場合には、本書記載内容にもとづき無料修理いたします。お買い上げの日から上記の期間内に故障した場合は、商品と本書をお持ちいただき、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。

1. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。

- (イ) 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
- (ロ) お買い上げ後の衝撃、落下あるいは移動、輸送などによる故障または損傷。
- (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障または損傷。
- (ニ) 保管の不備およびお手入れの不備による故障または損傷。
- (ホ) 本書の提示がない場合。
- (ヘ) 本書に形名、お買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合あるいは字句を書き換えられた場合。

2. 本製品の故障などに伴う二次的損害に対する保証はいたしません。

3. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保存してください。

- この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。

工機ホールディングス株式会社

〒108-6020 東京都港区港南2-15-1 (品川インターシティA棟)
電話 (03) 5783-0626 (代)